

実験により放射線利用技術を体験 放射線加工技術講習会を開催

平成18年7月20、21日、高崎研において「材料開発に役立つ放射線加工技術講習会 in TAKASAKI 2006」を開催しました。本講習会は、企業の方々に実験を通して放射線加工技術の有用性を体験してもらい、今後の自社の技術開発に役立ててもらうために企画され、今年で4回目を迎えました。講習会は実験が主体で、放射線グラフト重合技術(初日)、放射線橋かけ技術(2日目)ともに9社10名の参加者に試料の調整、電子線およびガンマ線照射、照射前後の試料の特性評価を実際に行ってもらいました。講習会後のアンケート結果では、大部分の参加者が講習会は役に立ち、今後放射線加工技術の社内への導入を検討したいとの意見が多数を占めました。



左上：試料の調整

右上：ガンマ線照射準備

下：講習会終了時

技術移転活動

・6月10, 11日：第5回産学連携推進会議（京都）

・6月12日：第2回群馬産学連携推進会議（前橋）

南波高崎研所長がパネル討論に参加し、放射線利用の成果を報告するとともに県内の産学官連携を一層強固にし、発展に努めることを説明。併せて放射線加工製品の展示を行いました。

・6月15日, 16日：産学連携学会4回大会（コラボ産学官プラザ in Tokyo 東京江戸川区船堀）

超耐熱性炭化ケイ素繊維・マイクロチューブの開発、高DNA結合反応促進剤の実用化、電子線合成ハイドロゲル創傷被覆材の実用化について技術移転の事例を発表しました。



産学連携学会パネル討論



技術移転事例発表

オープンセミナー

平成17年5月17日

「放射線と遺伝子資源—産業利用への道—」

平成17年8月2日

「宇宙線による地上用半導体の誤作動・故障の評価」

技術移転した技術及び製品の展示

・第1回原子力機構報告会

（6月20日有楽町朝日ホール）

・高崎量子応用シンポジウム

（6月22日,23日 高崎シテイギャラリー）

・いばらき産業大県フェア2006

（7月13日,14日 東京ビックサイト）

日本原子力研究開発機構 産学連携推進部 技術移転課 高崎駐在
窓口 笠井昇 〒370-1292 高崎市綿貫町1233

TEL:027-346-9812 FAX:027-346-9381

<http://www.taka.jaea.go.jp>